

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライマル・インパルス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.600	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プライマル・インパルス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：プライマル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

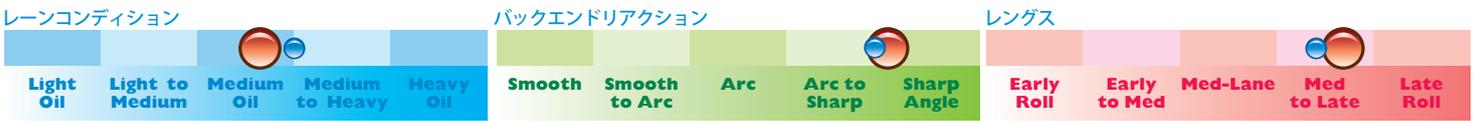
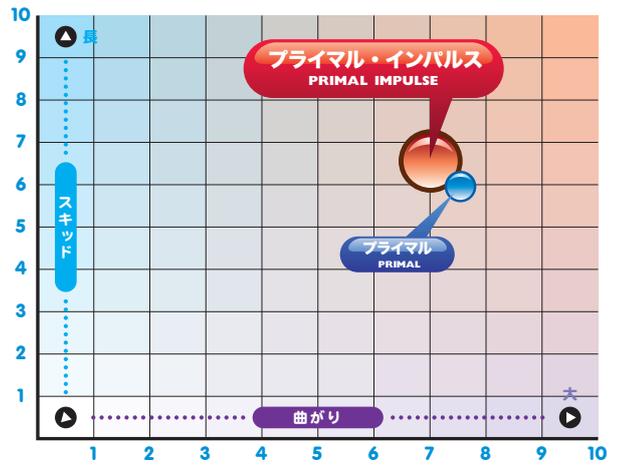
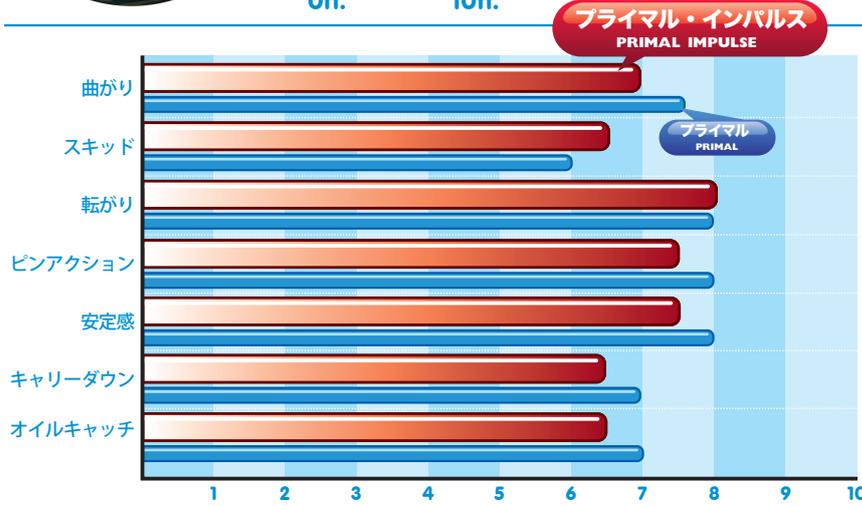
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今回発売するこのIMPULSEは、ミディアムコンディションを中心に攻撃的なフリップ感を伴うリアクション特性をもつボールと言えるでしょう。MOTIV社初となる二つの異なった比重の組み合わせのIMPULSEコアはRG:2.60、△RG:0.050(15P)を出力し、パール系に属するAtomix SFP(Skid Frip Pearl) Reactiveはパワー放出を温存させながらスキッドして、バックエンドリアクションと繋がります。

私が投球したイメージは、カバーストックにも命名されている通り、「スキッド・フリップ」というリアクションが前面に打ち出している性能だと感じました。カバーストック特性と高いRGからもその意図は何えます。面白いことに山本勲プロは私とは異なったイメージを感じましたのでご紹介しましょう。

「SIGMAよりオイルキャッチに優れ、手前からキャッチすることで曲り幅も一番大きく感じた」、「ピンアクションもSIGMAより柔らかくなっている」、「RGが高いボールとは思えないほどの転がりを感じた」と報告を受けました。比較投球のプライマルを見て頂いても分かる通り、私は初代プライマルのほうが曲がるイメージを持ち、山本プロはIMPULSEのほうが曲がるイメージで投球しています。もちろん私と山本プロはタイプも違いますが、転がりが強く入るタイプのボウラーは山本プロと同様の感想を持つ可能性が高く、あまり転がりが強く入らないタイプのボウラーは私と同様のSKID FLIPのイメージを持つと思われます。また今回のIMPULSEは他社メーカーでも類をみない独特な配色であることも見逃せません。配色が転がりを邪魔するイメージもなく、見た目でも手に取り、投げたくなる色合いでもあります。あなたのこのIMPULSEの感想を是非聞かせてください。

特記事項

Atomix SFP(Skid Frip Pearl) Reactiveがスキッドからメリハリのある切れ味を感じさせてくれるボール。独特なコア、独特な配色。MOTIVならではの独特なリアクションを是非お試しください。